

News

No.141
2018/10/01

力を発揮する学生たち



■サレジオ高専News

校長メッセージ

町田市マンホールふたの新たなデザインに採択
ご案内（メイン・TOPICS・EVENTSサイト、Youtube）

■育英学院同窓会報

恒例のキャリアデー開催

2018第1回理事会/SHCD2018幹事会開催

育英学院同窓会ブログ開設（ブログより記事抜粋）

育英高専 5期 電気工学科卒 井村氏より

育英高専 20期 グラフィック工学科卒 大塩氏より

育英高専 10期 電気工学科卒 内山氏より

育英高専 7期 電気工学科卒 近松氏より

育英高専 16期 電気科卒 木戸氏より

■父母会だより

平成30年度父母会役員・パーティー紹介

平成30年度 定期総会・歓迎会

平成30年度 第1回 おやじの会

平成30年度 学生活動等支援補助金

野尻湖 親睦旅行 7月14日(土)～7月15日(日)

SALESIO

サレジオ高専

サレジオ工業高等専門学校

194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8

Tel. 042-775-3020 Fax. 042-775-3021

Loving Kindness
Human Technology
Living Truth

発行人…校長:小島 知博
編集長…教員:山館 順
編集…広報:星野 正登



- 仲間と共に成長する学生たち -

TVK（テレビ神奈川）の「部活応援プロジェクト しゃかりき！」で本校の「ソーラーカープロジェクト」と「メカトロニクス研究同好会」の活動が紹介されました。

本校のアドミッション・ポリシーの一つに人間性があります。これは「善き社会人（職業人）になる」という教育目標を実現するための要素です。善き社会人にはいろいろな理解があります。その中に「協調性」ともに行動できるということがあります。ただいっしょにいればよいというのでは足りません。互いにコミュニケーションをはかり必要なものを汲み取って力を出し合うことが求められます。ここで重要になってくるのが、他者のことをどれだけ意識しているのかということです。周囲の人たちがいるおかげで自分が動くことができていることを感じているのか。さらにそこに「ありがたい」という感謝の念があるのかどうかということです。

番組のなかで学生たちへのインタビューがありました。その中で仲間存在を意識して「同級生がいてくれてよかった」や仲間への感謝のことが自然と出ていました。何かに夢中になりより高いものを目指すと自分に限界を感じ、指導者の存在や仲間のことを自然と意識するものです。そのときに周囲の人々の存在に「ありがたい」と感じることは人としての成長のあかしです。80年を超える本校の教育がしっかりと結実し受け継がれていることを実感できました。

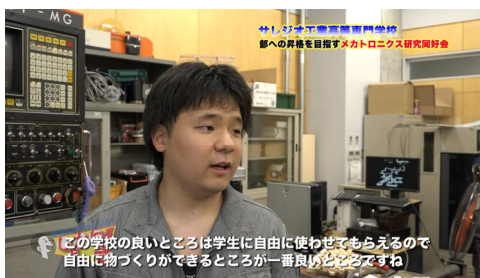
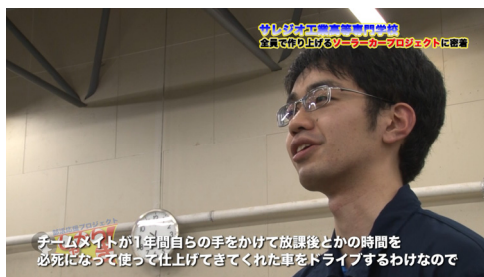
これからも本校の善き伝統を大切しながら学生たちの成長を促して行きます。あらためてみなさまのご理解とご支援に感謝いたします。今後も学生たちの成長をともに見守ってくださいますようお願いいたします。

サレジオ工業高等専門学校
学校長 小島 知博





下図は実際に放映された番組の1コマです。仲間の大切さをしっかりと理解して成長した学生たちを心から誇りに思います。11月にはメカトロニクス研究同好会が参加する「BRAVE」という大会の密着取材がTVK「しゃかりき！」で放映予定ですので今後もご注目下さい。





デザイン学科4年生中尾研史さんの作品が 町田市マンホールふたの新たなデザインに採択されました

町田市の新マンホールふたのデザインにデザイン学科4年生中尾研史さんのデザインが選ばれました。今回の企画は、下水道事業に関心を持ってもらうとともに、町田の魅力発信にもつなげていこうと、町田市と関係協定を締結している学校の学生が、汚水用と雨水用それぞれのマンホールふたのデザイン案を作成し、市民投票によって新たなマンホールふたのデザインを決定するというものです。

本校ではデザイン学科4年生の課題の1つとして展開され最終的に汚水用で提案した中尾さんのデザインが市民投票にかけられることになりました。今年7月～8月に行われた市民投票で、中尾さんの作品を含む、汚水用、雨水用それぞれ3つのデザインを対象に行われました。6,000票を越える投票のなか、汚水用マンホールふたのデザインに、2,640票（43.7%）の最多票を得た中尾さんの作品が選ばれ、9月10日の下水道の日に町田市庁舎にて石坂丈一市長から表彰状が授与されました。

新マンホールふたは、12月頃から、町田市庁舎や町田駅周辺など、市内約50箇所に順次設置される予定で、今後市街地以外でも、老朽化に伴う更新にあわせて設置していく予定ということです。

中尾研史さん作品制作コメント

テーマは「愛溢れる町田」です。「町田」の漢字に含まれる「田」の形の区切りに、「家族愛」の花言葉を持つ市の花サルビアを取り入れました。また、カワセミのつがいは、メスは嘴の下部が赤い特徴を活かしました。背景にはカワセミの生息する町田の豊かな河川を表現しました。



上図：中尾さんデザイン（汚水マンホールふたカラー・通常デザイン）
下図：学生のスケッチ

※デザインは安全性確保の観点等から一部補正・修正される場合があります。



ご案内

本誌に乗り切らない様々な学生の活動の成果や学校の公式イベントなどは
本校の公式WebサイトやYoutubeなどでもご覧になる事ができます

皆様是非ご覧ください

メインサイトQR



TOPICSサイトQR



EVENTSサイトQR



Youtube QR



育英学院同窓会報

発行人:育英学院同窓会 / 事務局:東京都町田市小山ヶ丘4-6-8 サレジオ工業高等専門学校内



ブログ開設・卒業生便り特集

恒例のキャリアデー開催 2018/5/19 サレジオ高専

今年も恒例のキャリアデーが高専において開催され、28名ものOBOG各位が講師として来校された。一部には地方勤務で現地から遠路こられた方もいた。以下に講師名簿から出身学科とお名前、ご所属を紹介する。(順不同)

EC坂和公介	東海旅客鉄道 (株)
EC乙幡裕文	ハイデンハイン (株)
ME正岡紗良	東芝プラントシステム (株)
ME伊藤拓海	筑波大学大学院
ME山本亮汰	東京特殊車体 (株)
ME佐々木元気	東京電機大学大学院
ME長田環	東プレ (株)
ME中村空美	池上通信機 (株)
EC菅原孝義	日本精工 (株)
EC加藤みどり	CQ出版社
ME丸山諒	京セラコミュニケーションシステム (株)
EE白石悠馬	日本貨物鉄道 (株)
EE青木裕太	メタウォーター (株)
EE飯田昌平	(株) 東芝
EE菊池輝之	KYB (株)
AD長谷川健人	(株) 東急エージェンシー
AD深井美月	(株) 東急エージェンシー
AD下川和倫	(株) 東急エージェンシー
AD今野義己	カルソニックカンセイ (株)
AD大塚有希子	凸版印刷 (株)
AD山田皓生	武蔵野美術大学
AD大竹花波	多摩美術大学
CS高津健 (株)	NTTコミュニケーションズ
CS岸川雄一	パナソニックヘルスマテリアル販売 (株)
CS慶松大海	(株) Blueship
CS守屋汐里	富士通 (株)
CS柿本陽平	法政大学大学院
CS高木翔一郎	個人事業主

同窓会から些少ではあるが謝金を河村会長からお渡しました。ご協力に感謝いたします。

2018第一回理事会 SHCD2018幹事会開催 2018/5/19 サレジオ高専

キャリアデーの後、同窓会役員と高専幹部との会食があり、今後の協力を約した。その後執行役員会、さらに理事会、幹事会が開催された。理事、幹事の出席は14名、欠席委任12名、欠席通知13名で理事会は成立した。

今年は総会年次ではないので、理事会では役員紹介の後、会長から同窓会の現況報告、事務局次長から財務状況の報告があった。特にここ数年、世界連合、日本連合に係わる支出が増え、収支残高が減少の傾向にあり、年度収支は赤字が続いている。次年度2019年秋より高専ニュースの配送を下記の会員限定とする案が提示された。

現状の配送支出

住所確認会員	7146
印刷経費 (同窓会頁分)	400,000
配送経費 (7200として)	442,368
印刷配送経費計	842,368

限定配送 (会費既納 + 同窓役員等 + 特別会員)

対象会員	3000 (卒後5年以内会員含む)
印刷配送経費計	305,000

10月20日 (土) 第二回理事会で再度理事の意見を伺いこの方向で支出の抑制を図りたい。収入増を図る方法として郵便振替以外の振込方法を検討しているが銀行振込以外のコンビニ利用あるいは引き落としなどは手数料負担で当面困難とされた。

次に会長より2020年度中に東京で開催されるアジア・オセアニア代表者会議に関する準備状況について説明があった。去る7月30日には関係者の本校視察があり、大会中の見学が見込まれている。その後51期生を加えてSHCD2018の式次第について説明があり、懇談のあと散会した。

今年のSHCD2018は11月3日 (土・祝) に開催 (学生食堂) 予定で、一部役員の尽力で、東チモール支援のカフェショップを開店する予定!

育英学院同窓会ブログ開設
<http://igdk.sblo.jp/> (ブログから転載)
 2018/8/1 同窓会事務局

従来同窓会では「会員制同窓会掲示場」をID,PW付きで運用していた。これは投稿可能であるため、この度、事務局のスキル向上に伴い同窓会のHPを置いているsakura.ne.jpのサイトから上記の同窓会ブログを開設した。事務局次長が運用しているため情報提供のスピードに追いつかないおそれはあるが、可能な限り提供された情報をアップして行きたい。従前のBBSに比べて直接投稿はできないが写真・画像がアップできるので読みやすく伝えやすくなった。同窓生、また幹事や世話役の方は、なにかイベントがありましたら告知、報告、伝言など下記のメールに画像とともに届けてください。PCメール kido@salesio-sp.ac.jp

訃報：育英高専（杉並）時代永く校医を務めた佐野純先生帰天

育英高専（杉並）時代、永く校医を務められた佐野純医師（享年90歳）が去る2018年8月13日帰天されました。校医在任期間の資料が見当たらないためいつからいつまでの校医であったかは不明少なくとも昭和60（1985）年当時、創立50周年誌、1986年の卒業生アルバムにお名前とお写真が掲載されていました。校医退職後癌による闘病生活を送られましたが奇跡的に回復し天寿を全うされました。育英時代の学生の皆さんは健康診断でお世話になったことと思います。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。なお通夜葬儀は8月16-17日カトリック下井草教会で執り行われました。

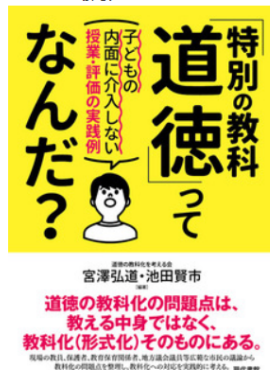


サムネイル(jpg)

高専31期グラフィック工学科卒業の宮澤弘道さんが教科「道徳」参考書を出版

高専31期グラフィック工学科卒業の宮澤弘道さんが教科となった「道徳」の実践本を出版された。彼は高専卒業後、小学校教諭の教員免許を取得し、現在東村山市立秋津東小学校で現職の教員として活躍されている。その中で最近の教育課程改定で、「道徳」が教科となり評価対象になった。高専の倫理哲学は学問としての評価が可能であったが、小中学校では難しい問題を引き起こしている。宮澤さんは「道徳の教科を考える会」の代表として以下のような教員向けの参考書を池田賢市さんと共著で出版した。
 (事務局注 高専卒業生で小中の教員免許を取得し、教員となっている方は少なくともなお勤務校と会の代表の2点について2018/8/18訂正いたしました)

サムネイル(jpg)



カトリック司教に選任された山野内倫昭神父

かつて育英高専に勤務され、倫理や哲学の教鞭をとられた山野内（通称マリオ神父）先生がこのたびバチカンよりさいたま教区（埼玉、茨城、栃木、群馬を管轄）の教区長、司教に選任されました。高専を退職したあとサレジオ会日本管区長としてサレジオ高専を深く愛され、たくさんの支援を頂きました。来る9月24日（月・祝）に埼玉県さいたま市緑区東浦和にある浦和の聖女子中学・高等学校にあるホールで司教叙階者座式が行われます。

去る8月16日、育英ファミリー会の旧馬会長他幹事幹事の皆さんが四谷のサレジオ管区長館に司教就任のお祝いに表敬訪問されました。同会の名誉会長として支援を頂いた御礼と今後のご活躍を申し上げ、わずかな時間でしたが11月頃には落ち着くまで浦和までお越しくださいとの感謝の言葉を頂戴したとのことです。（会長メールから）

サムネイル(jpg)



高専31期グラフィック工学科クラス会開催

高専31期グラフィック工学科クラス会開催

2018.4.1 幹事 鈴木ちひろ

去る4月1日に卒業してから初めてのクラス会を開催しました。連絡が取れない人もいましたが川本先生を含め19名が集まりました。また、今回は31期5年間の級長を務めた宮沢君が「特別の教科 道徳ってなんだ？」の出版祝いも併せて集まりました。卒業後、20年振りに集まるメンバーの近況が聞けて、楽しいひと時でした。今後もSNSで繋がるメンバーを増やし、一年後にまた開催予定です。



サレジオ同窓会日本連合事務局だより (抜粋)

サレジオ同窓会連合事務局より 8月6日（1日前）

サレジオ同窓会日本連合役員・ワーキングチーム（WT）の皆様

世界連合のグディーニャ副会長とピエダダ アジア青年部代表は、7月28日～31日の訪日を終え、無事に次の目的地へと旅立ちました。

1) 7/28会長レベラ+WT会合@新横浜のご報告 (連報)

2018年7月28日には、台風が直撃する中、新横浜プリンスホテルにて会長レベラ+WT会合が開催され、17人のメンバーが集まりました。昨年度の決算報告がなされ、今年度の予算案が承認されたほか、同窓会世界連合の「7つの優先課題」に基づき、日本連合の今後の事業や発展のあり方について検討を進めているWTメンバーからの報告がなされました。

世界連合幹部のグディーニャ氏とピエダダ氏は、アジア地域同窓会のAnimation Visit（同窓生の養成・活性化、世界連合のプロフェクト紹介等）のために訪日し、世界連合の成り立ちや今後の方向性、アジア各国の同窓会連合の現状、同窓会青年部の活性化の必要性などについて詳細な説明を行いました。

日本連合が発足して3年にもかかわらず、世界連合が目指す方向と一致しながら、活発により取り組みをしていることに、二人とも大変満足した様子でした。また2020年に日本での開催を予定しているアジア大会に向けての準備状況も確認し、このパワフルな日本連合WTのメンバーがいれば、アジア大会は必ず成功すると激励いただきました。皆様のご協力・ご尽力に感謝申し上げます。

2) 世界連合幹部の訪日の報告記事・写真等

ピエダダ氏による訪日（日本語訳）の報告記事を下記リンクよりご覧いただけます。ぜひご覧ください。

■7/30（月）

AM @橋本 サレジオ高専、町田サレジオ幼稚園

PM @横浜 サレジオ学院、横浜観光【新横浜泊】

<https://photos.app.goo.gl/GJW52JCYqCgCBemD9>

ソーラープレーン 日本高専学会から「奨励賞特別賞」

情報提供 電気工学科渡邊聡教授(2018/7/30)

ソーラープレーンの活動が日本高専学会で「奨励賞特別賞」を頂きました。賞状に記載されている通り、「全国の高専の発展のために特に優れた活動」であると賞されました。鳥人間に出場した機体を電動化し、日本発の有人ソーラープレーンにまで発展させてきた中で多くの学生達がかかわってきました。また、同窓会や同窓生の方からもご支援とご協力を頂き、感謝申し上げます。2017年度の活動として、平成30年3月に卒業した、篠崎氏、上田氏、八木下氏、鳥居氏と5年在学の方の澤井君が代表で表彰されました。

事務局注 日本高専学会は24年前に高専在職の有志の教職員によって発足、学術的研究のみならず高専教育における実践研究、学生の主体的な研究活動の研究発表の場となっている。

参照URL <http://jact.sakura.ne.jp/>

サムネイル(jpg)



サレジオ同窓会世界連合・日本連合関係

◆サレジオ同窓会連合事務局 7月24日発

この夏、世界連合副会長・青年部代表のアンヘル・グティエリヤさんと、世界連合評議員・アジア青年部代表のアルベルト・ピエダダさんが、アジア各地を歴訪しています。今回は、東ティモール、香港、マカオ、フィリピン、日本、ミャンマーを訪問予定で、日本には7月28日～31日の4日間滞在します。これに合わせ、今週末7月28日、同窓会日本連合の会長レベラ+ワーキングチーム(WT) 合同の会合を、世界連合幹部のお二人を迎えつつ新横浜で開催します。今会合では、アジア地域のサレジオ同窓生の養成・活性化、世界連合のプロジェクト、2020年に日本で開催予定のアジア大会などについて意見交換する予定です。

サレジオ会EAO東アジア・オセアニア地域のニュースサイト「BoscoLink」で、香港訪問の様子が紹介されています。

■4796(I)_GEX (Giovani Exallievi) stands for 'Young Past Pupils of Don Bosco'
http://www.bosco.link/index.php?document_srl=39323

◆同窓会日本連合 会長・副会長WT会合が新横浜で開催された。

日時： 2018年7月28日(土) 15:30～

場所： 新横浜プリンスホテル 小会議室
 (横浜市港北区新横浜3-4 新横浜駅徒歩2分)

内容(予定)：

- ・2017年度会計報告、2018年度予算案
- ・各種プロジェクトについてWTから進捗報告
 (広報、寄付、2020アジア大会、活動アイデア等)
- ・世界連合幹部との意見交換ほか



◆サレジオ高専 7月30日発速報

上記サレジオ同窓会世界連合の役員が本校を訪問、学校内を見学、本校のマルケス准教授が接遇し、案内した。EAO2020(アジア・オセアニア地域代表者会議東京)の見学先の予備調査として来校したもよう。

前田憲男さん(育英工高16期印刷)

前田 憲男(育英工高16期印刷)

前田@西東京市です

いつも、情報発信ありがとうございます。来月、新しい図鑑を刊行する事になりました。見本本は8月1日に届く事になっていますが、書店に配本されるのは中旬頃と思います。パンフレットのPDFを添付しますので、情報を流して頂ければ幸いです。

事務局追記 前田さんは生物写真家として特に「両生類のカエル」の写真家として著名な方です。日本爬虫両棲類学会 - Herpetological Society of Japanを通して育英中学で教鞭をとられた故五里主先生とも生前交流があったと聞いています。

サムネイル(jpg)



高専電気7期有志の会(長島清氏情報提供)

2018年 育英高専電気工学科7期の有志同窓会を千葉県の内房の吉田宅にて今年も7月の21(土)から22(日)一泊で、無事に執り行うことが出来ました。👏👏この時期、毎年恒例の行事です。吉田の家は純南町の大六海岸の近くです。連絡先は、08032044209 です👏👏最近スマホにして、ラインもやっていますよ👏👏今年の参加者は少なかったです。7人です。吉田富美男、秋山、彼は中国に出張していたんですが、そのまま来ました。石橋、彼は英語を教えています。フィリピン人の講師を雇っています。山田は何をしていたか忘れちゃった。田中はパソコンをシニアに教えています。ギターも上手で、松任谷正隆とセッションしたりしています。そして依田先生と私、長島清です。私はもうリタイアしているのと同じです。ゼンイレブンでバイトしています。孫が三人、女の子👧👧👧です。可愛いです👏👏👏。依田先生は、兎に角子供たちには楽しみながら考える力を養って欲しい。そうしないと高専の未来は無いよ👏👏そんな感じのことを言っていました。我々は今年65才となりますが、依田先生の話はそれなりに理解出来ます。木戸先生、卒業生への伝達を宜しくお願いします。👏👏👏では、お元気で。さようなら👏

集まった皆さん



同窓会支援団体合予告

- ★育英グラフィックの会講演会(確定)
日時会場 2018年10月27日(土)サレジオ高専
- ★元職会(確定)
日時会場 2018年10月13日(土)育英SITEC杉並
- ★SHCD2018卒業生の集い(高専)
招待期 21-25期、46期、51期
日時会場 2018年11月3日(土)高専学生食堂
- ★育英祭(サレジオ高専)
日時 2018年11月3日、4日 10:00-16:00
- ★育英ファミリーの会「さくらの会」(予定)
日時会場 2019年3月30日(土)育英SITEC杉並
詳細が決まり次第順次ブログにアップする予定です。

卒業して46年 趣味と実益が兼ねられたかな？

育英高専 5期電気工学科卒 井村滋

早く社会に出て働きたいと思い自分でも真空管の短波受信機を自作して遊んでいたのが、技術者になるべく自宅から通学できる育英を選びました。

1967年に5期生として入学。担任は依田先生。クラブは2年生までサッカー部、2アマ免許を取得していたので、木戸先生率いる無線部へ移籍、こども別な意味でタフでした。

伊豆半島を徒歩で半周とか、コンテストでは、徹夜で無線運用しました。そのときの仲間とは卒業後も長く付き合いが続くことになり、駒井君はTV、井上君はAudioに熱をあげていました。

50MHz用の長さ数メートルのアンテナを学内の工作機械を拝借し製作し自宅で12mの高さに設置しました。この時の写真と製作模様を記事にしてCQ誌に掲載され、いい記念になりました。

中学の時に独学で始めたクラシックギターを無線部の追い出しコンパで駒井君に教えてくれと頼まれ、この時の曲「魔笛」が卒業後色々な形で私を助けることに。

村上先生、平山先生や多くの先生方のご支援もあり、ウォークマンやAIBOで有名なS社へ1972年に入社、一次試験は筆記と技術面接で、入社後私の面接者が配属先の上司であったと気が付きました。

入社式の社長Mさんの挨拶が驚きで、「学校では君たちはお金を払って学ぶが、会社ではお客様からお金を頂く。学校の試験評価は0点から100点までの評価だが、お客様からの評価はマイナス200点もあればプラス300点もある。3ヶ月の試用期間に自分がこの会社に馴染まないと思うならば直ぐに辞めなさい、一度しかない君達の人生だから。」と今でも覚えています。

配属先は、品川にある音響事業部音響開発課で、初仕事は最上級プリアンプのヘッドフォンアンプとライトビーム式ピークメーターを担当、このピークメーター回路で特許表彰4級を受賞しました。その頃に、A社に入った井上君が結婚することになり、C社へ入った駒井君が彼の社内の仲間と私を引き込み、ウェディングパーティでバンド演奏する話になり、私のバンド人生が始まりました。

さらに技術研究所で楽器開発、デジタルシグナルプロセッサ(DSP)のLSI開発、自律航法ナビ開発では位置検出用振動ジャイロを新規開発したのにナビ自体がボツに、その後ビデオカメラの手振れ防止に採用されたので開発倒れにならず少しは気が楽になりました。

1990年からは私が退職するまで関わるデジタル携帯電話開発のプロジェクトがスタート。GSMというフランスとドイツが軸になった欧州技術標準(ETSI)準拠の3Gデジタル携帯電話システムでした。(編集注このGSMは当時の世界標準の携帯電話)

右上へ続く

左下の続き

GSM開発メンバーの半数以上がドイツのシュツットガルトにある拠点に赴任、私は東京に残り出張で対応することに。出張は行くとなると大体1ヶ月以上滞在、そこからフランス、イギリス、デンマークなどのテストラボへ型式認定前の試作機の試験に行きました。デンマークのテレデンマークというテストラボに行った時、受付横の胸像の説明を読むと、なんと電気英語教科書で学んだワイヤーレコーダーの発明者ヴァルダマーポールセンでした。

バンド仲間のSさんが赴任していて、私が出張するたびにお宅での食事の招待や、街の周辺名所の案内、果ては発熱でホテルに寝込んだ時には食事の差し入れまでご厄介に。

この携帯電話は1996年に欧州で発売されましたが、生産拠点はフランスのアルザスにあるビデオカメラ工場で、生産が軌道に乗るように何日も徹夜し工場サポート。その時入社3年目ぐらいの若手技術者から言われた言葉は今でも忘れられません。彼曰く、「徹夜も何日かあって大変であったけど井村さんと一緒に仕事できて辛くなかったし楽しかった」。どのような上司の褒め言葉より嬉しかった、感激です。

2001年からはS社と携帯電話の外国資本とで設立された合併の日本支社に異動。2011年の誕生日月末で定年でしたが、再雇用制度で1年毎の契約社員として、更に5年間勤めました。私は職場の人間関係が一番大事であると考えていましたし現職場で必要とされていた事も残り残りました。定年の誕生日に職場の方が、壮行会と称して一席設けてくださいましたがそこでギター演奏の要望があり、あの魔笛を含む4曲を披露しました。

契約社員が満了し退職した5年後も同じように、職場の方からギター演奏を送別会で頼まれて2曲ほど披露。去りゆく年寄りに思いやりのある素晴らしい仲間たちです。

在職中は一技術者でありたいという私の初心を退職まで続けることを許して頂いたS社に感謝しています。趣味で行う事と、プロで行う事は意味が全く異なります。ギターに傾倒したからといって音楽に進もうとは思いませんでした。何故なら趣味では自分の好きなことだけすることができる、ある意味自己満足ですが、プロは自分が望まない仕事でも顧客の要望する性能、期日、コストを考慮して完成させなくてはならないからです。

趣味であったアマ無線から始まった技術への興味は高専で専門教育を受けたことで、プロ技術者として過ごせたと思います。さらに趣味のバンドがあったので、きっとハードな仕事をこなせたのでしょう。そのような様々な影響を受けた母校に、細やかでも恩返しができると思う今日この頃です。



写真は昨年11月のライブでアコースティックなバンド演奏時の一コマ。

育卒業して31年 死ぬまでクラス幹事として・・・

育英高専20期グラフィック工学科 大塩（善如寺）陽介

昭和57年の春、育英高専の門をくぐった。そもそも勉強が嫌いで早く社会に出てお金を稼ぐ気持ちが強く、しかし高卒では格好がつかない、ならば短大卒同等の資格が得られ就職率300%と云われていた「高専」はうってつけだった(筈だった)。

1年の2月に大雪が降り関東一円大雪で電車も道路も麻痺した朝、普段は遅刻者の多い我がクラスはだれ一人も欠けずに登校し井上先生に「お前らいたいどうなっているんだよ」と云わせた(結局その日学生はおろか先生もまともに登校出来ずに臨時休校・・・) 今思えばあの頃、普段は自分勝手にのんびりだりとしていても根底には「何かにつばりたい」「無理と云うならやっつけたい」の反骨精神が強い時代だったのであろう。

卒業後はクラスの悪友(物故)が勤務先の社長に自分の話をしたところ急にお誘いがかかり、断る間もなく入社させられてしまった。時代はバブル真只中、入った会社は制作代理店。当時は晴海、サンシャインの展示会場に入り浸り、深夜2時から打ち合わせ、春秋は三ヶ月連続残業200時間オーバー。(今なら過労死) 金は有るけど使う時間は無い、周りの女の子は紫の口紅が付いたハイライト(タバコ)を捨てて歩く様なワンレン崩れ、女性観が変わった青春時代。現場でもデザインやグラフィックの同級生、先輩色々遭遇し仕事内容、給料、待遇と情報の交換をしていた。そんな中でスタッフの業者さんが何人も過労で倒れ、世話になっていた仲良しの社長さんが急死したのを機会に自分を見つめ直し退社。

ちょっとプラプラしていたら結婚話が急浮上。東京を離れ今の住まい兵庫県明石市の妻の実家に転げ込んだが、実は彼女の家は酪農と稲作を営んでいて自分はその後継者となった(ならされた)。高専を出て何をしているのだらうと思う事もあったが、生活を継続できて子供を育てられる、人としての基本が送れるのなら結果オーライと考えている。それまでの夜討ち朝駆けの生活から一変し朝は5時から仕事に入り、神戸の震災の時は工作中、そんな農業の世界でも高専を出て東京から嫁(婿)いで来た変わり者として扱われていたが、原乳の出荷先の工場長が都立高専の卒業生、やたら話が合い親切にして貰った体験も高専卒といった希少性と共通性なのかもしれない。次男が高校受験の際に「本当にパパは高専卒なのか」と何度も訪ねられ信じられないといった顔をしていた。在学の5年間一緒に過ごした仲間との体験は卒業してから少しずつ開花し、いつの日かヒマワリやアジサイの様な大花を咲かせたと確信している。

最後に杉並校舎の電気館1F廊下に掲げてあった好きな言葉を贈らせてもらいます。

「暗いと不平を言う前に 進んで灯りを点けましょう」

講習用作業重機 →



卒業して41年 サラリーマン生活の半分は海外で

育英高専10期電気工学科 内山秀俊

1972年に当時の育英高専電気工学科に入学しました。自宅は目黒で通学時間が1時間15分でしたが、5年間の一貫教育で早く社会に出たいという気持ちで受験しました。在学中はとくに電気通信部(無線部)に入り5年間を通して先輩、後輩との交流は思い出深いです。卒研は木戸研で「食堂の待ち行列のシミュレーション」でしたが、当時のミニコンではデータの処理にとんでもない時間がかかるので、丸善の展示用のマシンを借りてデータ処理、卒業研究を完成させました。共同研究者は笹倉君で5年間で多くの友人を作ることができたのは高専であったからでした。

1977年に卒業した時はオイルショック後の就職難で希望するソフトウェア関係の企業には入れず池袋サンシャインシティの池袋地域冷暖房(株)という会社に就職、それまで全く無縁だったボイラーの運転、冷凍機の運転を24時間交代勤務で5年間勤めました。電気出身なので現場に設置されている運転機器の故障対応をしているうちに修理や点検でメーカーのエンジニアと関わる事があり、お客さんのところへ行って修理作業をやりたいと思うようになりました。

そこで転職情報誌で横河電機サービス(株)が求人をしているので転職しました。最初はお客様へ出向くサービスエンジニア、後に親会社の横河と北辰の合併もあり社名は変わりましたが40歳の時トレーニングセンターで海外のエンジニアに教育する機会があり、仕方なく英語を勉強しました。最初のころは英語が話せない夢を見て夜中に目を覚ましたものです。海外のエンジニアと交流するうちに海外駐在したいという気持ちが出て1997年のタイからスタートしました。タイ(5年)、日本帰国(2年)、中国上海(4年)、シンガポール(半年)、インドネシア(2年)、台湾(6年)と続き台湾が定年退職前最後の仕事でした。

特に台湾が気に入りましたので永住権を取得して家族と台湾高雄に住むことになりました。定年前の台湾駐在では少し自分の時間も取れるようになり声乐を習って2016年には880人収容の高雄市文化センターでのオペラ歌曲のコンサートに出演する機会を得、こんな晴れ舞台は、海外にいたから経験できた事と思っています。写真はその時のステージです。台湾南部高雄市ののんびりとしていて昭和の日本を思い出すような感じです。

60歳で悠々自適も良いですがちょうど横河電機のグループ会社の横河ソリューションサービス(株)からコンサルタント契約の話をいただき、普段は台湾に住んでメールやテレビ会議で情報交換し毎月インドネシアやタイの日系企業を訪問して製品の拡販をしています。正直定年時には今のような仕事ができるとは思ってもみなかったです。何よりも人生は自分で切り開く気持ちをいつも忘れないようと思っています。



卒業して45年、 鉄道に関わって・・・

育英高専7期電気工学科卒 近松秀明

小学4年の時にHOゲージをクリスマスプレゼントでもらいその後模型にはまり、その後エレキットという電子回路組み立て玩具？をプレゼントされ、それが鉄道と電気のおたくに。

中学の時は技術部というクラブ活動があり学園祭ではパノラマ運転の鉄道信号システムを担当し普通の勉強ご無沙汰の中、担任の先生から育英高専を紹介され学校見学し気に入る、村上神父様の入試面接も乗り越えて、入学できました。最初のクラブ活動は無線部に入部し、木戸先生の指導のもと、学園祭では、当時フジTVで大人気だったコンピュータの恋人選びを出し物にするということで、クロスバ交換器のリレーを意味なく動かし、人間力で結果をあたかもプリントアウトするという企画がうけました。その後同好の仲間とオーディオ研究会、科学技研など活動し色々自由に活動させて戴きました。

一方で溝部神父様が主催する読書研究会なるものにも場違いとは思いつつも参加し広い視野を持つことができました。卒業に際しては当時人気の国鉄と思いましたが、同級生から民間の方があっていると言われ、東洋電機製造に入社しました。電車の電源装置、制御装置などの設計を担当し阪急、小田急、広島、京王などの電車で製品を納入しました。

広島電鉄では最後のアナログ電車といわれる3連接車両3700形の制御装置を設計し今でも元気に走っています。入社14年目で現在の日本信号に転職し、3年ほど営業部門でブレーキシュー、ATCなどの販売活動を経験の後、技術部門に移り、ATO、ATCの設計を主体に自動放送、誘導無線などを担当していました。名古屋、福岡、大阪、京都、札幌などの案件を対応し、頻りに設計会議のはしごをしました。車上信号関係は日立、東芝といった大メーカーとの設計会議での喧嘩に近い議論も思い出です。

その後、海外営業部付きの技術部門に移り、各国鉄道信号入札案件に取り組み、68回の出張で12カ国、イランは24回訪問しました。在学時に外人の神父様と接したことから慣れていた？からか現地での仕様協議などを乗り切り、北京15号線の無線信号でひと段落のところで東武の信号近代化でデジタルATCシステム対応などして、深夜試運転も良い思い出です。

現在再雇用され、業務のお手伝いのほか関係団体に属し、鉄道JIS規格の原案作成を5件ほど完成させ、今も3件対応中です。鉄道は裾野が広い技術体系なので育英時代のすべてが役立っていると思う今日この頃です。



イランマシャド1号線の研修生受け入れのお礼にイラン大使館で開かれた晩餐会の一コマ

卒業して53年、 同窓会事務局で・・・

育英工高16期電気科卒 木戸能史

1959（昭和34）年当時の帝都育英学院中学（杉並）に入学しました。

周囲は畑、小川、林などのどかな田舎にあるような木造校舎（戦時中建物の流用）そこには外国人神父や修道士が総勢30名余もいる別世界のような様子でした。

なぜ育英をえらんだかという両親が公立中でいじめに会うといけないうので数少ないカトリックミッションを選んだと聞いています。

1965（昭和40）年に育英工高を卒業するまで特に記憶の残る神父が二人います。中学当時DSAという同好会のような団体がありそこで五里主先生に出会いました。ヘビの研究者で綾瀬川にヘビ取りに行ったこともあります。そのとき素手で捕まえた「ヤマカガシ」が後にマムシ、ハブに加えて毒蛇ということを発見したのも五里主先生（後に爬虫類・両棲類学会長、故人）でした。

工高に入ってから担任の土屋真男先生は担任でもありましたが2年生のとき私の友人と一緒に小諸から浅間山に登山、その途中で先生が体調不良になり、それが後に命を奪う心臓弁膜症の始まりでした。この病気により1967（昭和42）年に帰天されました。

こうして工高卒業後、残れと言われて、断れない事情もあり昭和38（昭和38）年に開設した高専電気工学科の技術員となりそのまま助手、講師、助教授、教授として奉職し、特筆するのはプログラミングの著作を共著も含めてオーム社から8冊出版したことです。今でもAmazonで検索すると出てきます、ビックリ！

教職員として過ごした間にも記憶に残る神父が二人います。一人は上司でもあった溝部先生（後に教区司教、故人）は当時の若い先生たち（今は皆定年退職）をつれて長野杉野沢にキャンプ、そこには美人のスタッフもいて野外ミサなど忘れられない記憶です。もう一人は東木神父で、都倫理社会教育研究会で活躍、私も4年生（高専7期生）の倫理哲学ゼミを担当「遠藤周作作品」を学生とともに読んだ記憶があります。

定年後はさらに事務長、法人常務理事として今日に至ります。今は月木勤務なので時間も〇も余裕があり、40年ぶりにアマチュア無線（JA1MKX）を再開、地域の友人や東南アジアの局とも交信しています。この夏は20年ぶりにクラブ学生を引率して前橋に行きます。

育英（現サレジオ）しか知らない人生ですがそれでもいいのかも知れません。3000人以上の学生たちと関わったのは幸せの一言です。





高専News編集部では
皆様からの情報やご要望をお待ちしております。

ご自身の近況・ご学友の近況などの情報のご提供や、より詳しく知りたい本校の活動内容などがございましたら
お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

学 校 広 報 室
星 野 正 登

【 hoshino@salesio-sp.ac.jp 】 or 【 070-2196-5135 】

なお、本校に来校をご予定の方は、公共交通機関をご利用の上、
お気をつけてお越しください。

